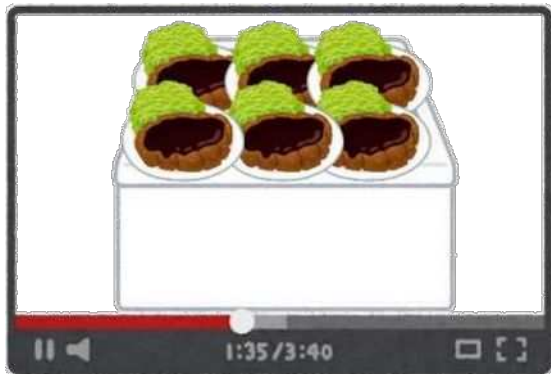


不適切な行為による炎上

埼玉県教育委員会

私たちは、社会の一員として他人に迷惑をかけない、ウソをつかないなど、当たり前を守るべき価値観を求められます。マナーやルール、倫理、道徳、モラルが該当します。この価値観はわたしたちが生きているこの世界だけでなく、インターネット上でも同じように求められます。

モラルや倫理観の欠如



とある人気Youtuberがある企画を動画にしました。その企画は食べ物を友人のお風呂にいっぱいになるまで敷き詰めるといった企画でした。

動画内では敷き詰められた食べ物を食べる様子が映し出されましたが、完食した姿は映されていません。その後の食べ物の行方は本人たちしかわからない状態です。



実際の動画は100万回再生され、数字が示すように注目された動画となっています。しかし、動画投稿直後から食べ物を粗末にする行動に批判が集まりました。



他のYoutuberが自身のチャンネルで批判する動画をアップロードしたり、各報道機関が取り上げニュースにもなりました。

本人たちからの弁解もなく...

こういった意図で企画を行ったかはわかりません。倫理観がなかったことは考えづらいですが、倫理観に反していることを逆手にとって再生回数を伸ばすために行った可能性もあります。結果的に再生回数は伸びていますが、視聴者の反応は真逆の結果となりました。



食べ物を粗末にする事例は他にもよく見かけます。面白おかしく感じる人々がいる反面、必ず不快に感じる人々や批判する人々がいます。



マナーやルール、倫理、道徳、モラルに関する話題は特に注意が必要です。多様性という言葉が示すように人々の数だけ考え方がある一方で、社会の常識として共通認識化しているものがあります。認識から外れるものは慎重に取り扱う必要があります。加えて、何かを主張する際、意図していることが、そのまま相手に伝わらない可能性を秘めています。情報を発信する際は、内容面での注意、表現面での注意、どちらも注意しましょう。